

令和2年2月26日

足立区立花畠北中学校

校長 齋藤 直樹 様

足立区立花畠北中学校 開かれた学校づくり協議会

令和元年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

学力向上については目標には及びませんでしたが、全校を挙げて授業改善に取り組まれ、補習も含めて少人数での取り組みが生徒にも保護者にも好評と見受けられます。しっかり話して、聞いて、書いて、読める子を育ててくださっています。家庭学習などの項目の、保護者の満足度が低いようですが、小学校のように今日学習したことを定着させる意味で計画的に宿題を出されてはいかがでしょうか。

今年度も、豊かな心を育成するために、ボランティア活動と不登校対策に力を入れているとのことでした。例年地域から、花畠北中のボランティアはよく活動し、挨拶もきちんとしているとの言葉をいただくことが多く、よく育っていることがわかります。不登校生徒もだいぶ改善してきたようですが、引き続き支援をよろしくお願ひします。

これからも、夢・挑戦・自立をキーワードに、生徒一人一人を導いてくださるよう、お願ひします。

2. 学校から提示された課題について

学力向上が引き続き課題とのことでした。向上のために授業を改善したり、放課後の特訓講座に取り組んだりと、生徒も先生方も一生懸命取り組んでいる様子がわかります。来年度は家庭学習ノートを導入して、毎日必ずその日の復習に取り組めるようにすることでしたが、効果が上がることを期待しています。なかなか勉強に向き合わない生徒に、これまで同様こつこつと温かい指導を行い、日々の授業にしっかりと取り組むようお願ひします。

また、教育相談体制の充実ということが課題として挙げられました。先生方がいろいろな場面で生徒さんや保護者の皆様の相談にきめ細かく乗っていらっしゃるとは思いますが、満足度の低い学年があることからも、相談できない、いじめを解決してもらえない、というように、先生方の努力が伝わっていないこともあるのではないか。寄り添って気持ちを聞き、生徒や保護者の立場に立つことをお忘れなきようお願ひします。

今後とも地域の中にある花畠北中に、様々な形で力添えをしたいと考えております。来年度も、夢と自信にあふれた、足立区に誇れる学校でいてもらえるよう、お願ひします。